

# 2013 年度初年次教育学会WS 参加者アンケート結果

河合塾 教育研究部

実施 日：2013 年 9 月 12 日

会 場：金沢工業大学

W S 参加者：26 人

アンケート回答者：18 人

## 1. 今日のワークショップはいかがでしたか

評 価	件数 (件)	構成比 (%)
① 大変参考になった	10	55.6%
② 参考になった	7	38.9%
③ どちらともいえない	1	5.6%
④ あまり参考にならなかった	0	0.0%
⑤ 参考にならなかった	0	0.0%
合 計	18	100.0%

### ① 大変参考になった理由

- ・ プログラムの作成を協働する。ユニット毎の担当化等。
- ・ 話を聞いただけではわからないことが数多くありました。
- ・ 現実味のある資料に基づいているので、それをふまえて、こちらの方でいろいろと背景を想定できる。
- ・ また同様のワークショップがあれば参加したいです。

### ② 参考になった理由

- ・ 内容自体は非常に興味深かったが、時間配分やグルーピングにおいて、想像以上の気付きに繋がらなかった。
- ・ 文章表現能力向上をこれから取り組もうと思ったため具体的事例が参考になりました。
- ・ ワークショップの目的が明確であったことから、自分の問題意識に基づく学びが多かった。
- ・ 自分の思い込みを離れて様々な考え方に触れることができた。

### ③ どちらともいえない理由

- ・ ワークショップの時間配分が足りなかった。盛り込まれている内容相互の関係がわかる構成だと良い。

## 2. 本日のワークショップについてお尋ねします

### 1) ライティング科目としての観点から

評 価	件数 (件)	構成比 (%)
① 大変参考になった	6	33.3%
② 参考になった	8	44.4%
③ どちらともいえない	3	16.7%
④ あまり参考にならなかった	1	5.6%
⑤ 参考にならなかった	0	0.0%
合 計	18	100.0%

#### ① 大変参考になった理由

- ・ ワークシートの例がたくさんあり、参考になった。
- ・ ライティングと一言でいっても、多様な内容が組み込まれるのが難しいと感じました。
- ・ 現在抱えている問題と近かった。
- ・ ライティング科目をユニットとして分割すると、整理できてよいように思う。
- ・ 豊富な事例を聞かせていただくことができ、大変勉強になりました。

#### ② 参考になった理由

- ・ ライティングに限らない視点を含みこんだものであることがよかった。
- ・ 自分自身の日頃の授業テーマでもあるライティング科目のあるべき姿を知ることができた。
- ・ ライティングというよりは、ライティングを含む初年次科目の考え方全体の内容であった。もう少しライティングそのものに比重に置いてほしかった。

#### ③ どちらともいえない理由

- ・ 理論としては勉強になったが、もう少し。

#### ④ あまり参考にならなかった理由

- ・ ライティング科目で悩んでいる教員の抱えているものが多様であるので、少し消化不良気味であった。もっと具体的なメソッド（例えば要約文の作り方そのものなど）を期待された方もいたのではないか。

## 2) 授業デザインとプログラム編成の観点から

評 価	件数 (件)	構成比 (%)
① 大変参考になった	10	55.6%
② 参考になった	8	44.4%
③ どちらともいえない	0	0.0%
④ あまり参考にならなかった	0	0.0%
⑤ 参考にならなかった	0	0.0%
合 計	18	100.0%

### ① 大変参考になった理由

- ・ 複数教員でユニット単位で授業を組み立てるモデルが手に入った。気をつける点、スケジュールなど。
- ・ プログラムをユニット化し、担当化することで、各教員により一層の責任感が発生すると感じました。
- ・ 目的に応じて与える内容とその配分を考える上で大変参考になった。
- ・ 様々な視点からアプローチできることを再認識し、今後の参考にできるため。
- ・ ユニットごとに教員ごとに授業デザインを担当するという考え方が大変参考になりました。
- ・ 異なる価値観の存在に触れることができた。
- ・ 事例が具体的であること、さらに現実に行われているプログラムであるから、メリット・デメリット双方に説得力がある。

### ② 参考になった理由

- ・ 教え方が体系的に整理されていること。
- ・ 時間のない中の作業でもあったので、ユニットの狙いが、ロジカル・シンキング、キャリア教育という、ジェネリックなもの、具体的なものが重なっていないもののほうが、協同作業がやりやすかったと思う。
- ・ ライティング能力の向上に必要となる様々な関連スキルについても考える機会となった。
- ・ 授業デザインのうち、15回シラバスの組み立てについて考えるときには、コンテンツが方法論を規程してしまう部分も多いので、内容構成なのか授業目的（ねらい）と方法論なのか、どちらかに絞ったほうがよいのではないか。
- ・ 自分の授業スタイルを客観的に振り返る視点が得られました。

### 3) 協同でシラバスを作成するという観点から

評 価	件数 (件)	構成比 (%)
① 大変参考になった	10	55.6%
② 参考になった	7	38.9%
③ どちらともいえない	1	5.6%
④ あまり参考にならなかった	0	0.0%
⑤ 参考にならなかった	0	0.0%
合 計	18	100.0%

#### ① 大変参考になった理由

- ・ 複数教員でユニット単位で授業を組み立てるモデルが手に入った。気をつける点、スケジュールなど。
- ・ ファシリテータの必要性を感じました。
- ・ 教育観・学修観の違いがあるということ。それを見える化させるための具体的なチェックリストは参考になりました。
- ・ 多くの観点からの案を聞くことができたこと。
- ・ 他大学の状況により、多様な意見がうかがえたため。
- ・ 今後の参考になった。
- ・ 議論の重要性を再認識した。
- ・ この手の教科書および指導マニュアルをほぼ一冊一人で書いた経験があるので、分担のシステムの良さはわかった。教育観・学生像の共有の重要性も実感した。
- ・ 学習者へのイメージ教育観の違いが最初のチェックシートよりもよくわかりました。

#### ② 参考になった理由

- ・ 本日の限られた時間では協同でのシラバス作成を形にできなかったが、4人集まれば四様の考えがあるということに気付けた点で参考になった。
- ・ チームメンバーである4名それぞれの教育観が反映した有意義な学びのあるワークであった。
- ・ 共感する部分が多くございました。
- ・ メンバーによってかなり左右されるので、数年前にワークショップに出席した時と比べると、今回はメンバーに恵まれていた。

#### ③ どちらともいえない理由

- ・ ワークショップとして、授業のねらいを協同で設定することがいかに難しいか、またどのようにしたら共通項を見出して、共通シラバスまで到達できるのか、これはこれでマネジメントレベルのワークショップが必要だと思う。

#### 4. その他、ご意見・ご要望など

- ・ グループワーク用には、クラス規模やねらいなどをあらかじめ設定してあった方が作業がしやすかったと思います。
- ・ プログラムが走ってから、各教員間で発生したズレを、どのように修正していけばいいのか、こういった点でどう改善すればよいかが課題となっています。
- ・ とても参考になりました。ありがとうございました。
- ・ 時間が足りなかった。
- ・ 理系大学で、文章表現の科目への捉え方が異なっております。申し訳ないです。
- ・ 協同ワークショップはゴール/output よりもプロセスで一人ひとりの意見をきちんと聞いて良かったです。
- ・ レクチャー部分にひと工夫あると（事前配布など）、もっと時間を有効に使えるかと。貴重なご教示ありがとうございました。
- ・ 時間制約が残念でしたが、端緒として有意義でした。
- ・ この手のワークショップにはありがちなことですが、時間配分が非常にタイトで、模造紙を書く時間が全くありませんでした。ワークショップの「授業設計」に少々無理があったのではと思われます。
- ・ 学生のワークをスムーズに進めるために、充実したワークシートが必要であるというお話があり、学生が自分で思考のプロセスを組み立てられる（ワークシートがなくてもワークができる）力を育てるためには、どうすればよいのか。繰り返せば自然に身につくのか？ということが次の課題になるのではないかと思います。

以 上